

会 議 録

会議名	令和7年度第3回愛川町地域公共交通協議会	
開催日時	令和8年2月13日（金）午後2時00分～午後2時45分	
開催場所	愛川町役場2階 201会議室	
出席者	委員	15人（別紙のとおり）
	その他	1人（代理出席）
	事務局	5人（政策秘書課長 他4人）
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開 会2 あいさつ3 協議事項<ul style="list-style-type: none">（1）地域公共交通計画に係るパブリックコメントの結果について（2）地域公共交通計画の策定について（3）令和8年度事業計画及び予算（案）について4 そ の 他5 閉 会	

審 議 経 過

(1 / 2)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

次第1 開 会

次第2 あいさつ

次第3 協議事項

（1）地域公共交通計画に係るパブリックコメントの結果について

（2）地域公共交通計画の策定について

●（資料に基づき説明）

（3）令和8年度事業計画及び予算（案）について

○（委員A）循環バスの見直しに関して、部活動の地域展開が進んでいる中で、生徒たちの移動も考慮していくため、教育委員会とも連携して検討してほしい。

●いただいた意見も踏まえて今後検討する。

○（会長）町内循環バスの令和6年度の利用実績はいかがか。

●約23,800人となっており、回復傾向が続いている。

次第4 その他

○（委員A）フィリピンに自動車教習所を作って、そこで訓練を受けた方を即戦力として日本に派遣するといった取組みを報道で見た。運転手不足が進む中で、対策を強化してほしい。

○（委員B）外国人採用については各社取組んできているところ。これまでは、N3の資格が必要で、ある程度の日本語能力が求められていたが、最近N4に緩和された。

今後こうした採用が広がっていく可能性はあるが、路線バスのサービス内容は多岐に

審 議 経 過

(2 / 2)

渡るため、観光バスや企業バスなど、お客さんが頻繁に乗り降りしないようなサービスが中心となると思われる。

●運転手確保対策について、県央の市町村で構成する「県央やまなみ協議会」と神奈中とが連携し、普通免許で大型バスが運転できる「運転体験会」を今年度に初めて実施するなど、行政としても取り組みを進めているところである。

○（会長）外国人の採用に関しては、少しずつ進んできている。運転技術といったところは割と早く対応できると思うが、道路状況の違いといったところもネックとしてあるようで、右側通行の国より、左側通行の国の方が対応はしやすいようである。

次第4 その他

次第5 閉会

令和7年度第3回愛川町地域公共交通協議会 出席者名簿

No.	選出区分	氏名	団体・役職等	出欠
1	学識経験者	鈴木 文彦	交通ジャーナリスト 日本バス文化保存振興委員会理事長	
2	公共交通事業者等	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会常務理事	
3	公共交通事業者等	小嶋 光行	一般社団法人神奈川県タクシー協会理事	欠 (代理)
4	公共交通事業者等	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社運輸計画部計画担当課長	
5	道路管理者	川田 宗弘	厚木土木事務所工務部長	
6	公安委員会	千葉 正広	厚木警察署交通第一課巡查部長	欠
7	地方運輸局	加納 光博	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	
8	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	河口 健	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会幹事	
9	地域公共交通の利用者	吉邑 高志	愛川町区長会会長	
10	地域公共交通の利用者	中村 慎輔	愛川町中学校校長会会長	
11	地域公共交通の利用者	馬場 洋一郎	愛甲商工会副会長	
12	地域公共交通の利用者	荒井 英明	神奈川県内陸工業団地協同組合専務理事	
13	地域公共交通の利用者	馬場 紀光	県央愛川農業協同組合代表理事組合長	欠
14	地域公共交通の利用者	足立原 善司	愛川町老人クラブ連合会副会長	
15	地域公共交通の利用者	岡部 真由美	愛川町身体障害者福祉協会会長	
16	地域公共交通の利用者	齋藤 光枝	愛川町婦人団体連絡協議会理事	
17	関係する行政機関	廣野 修一	神奈川県県土整備局都市部交通政策課副課長	
18	計画を策定しようとする市町村	後藤 昭弘	愛川町総務部長	